

令和4年度

学校評価報告書



甲府市立北中学校

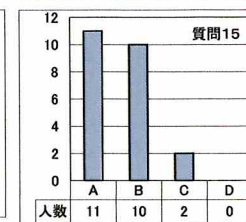
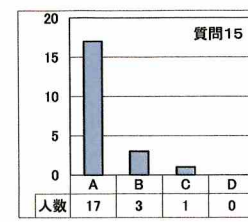
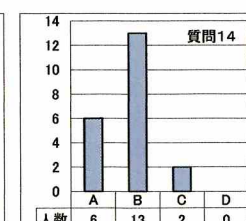
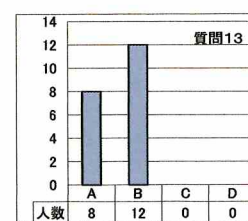
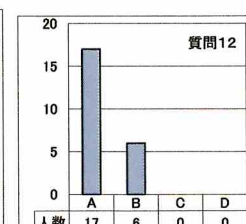
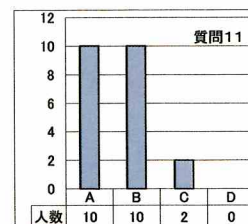
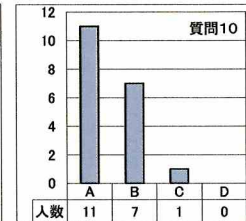
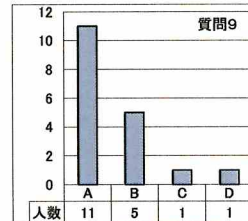
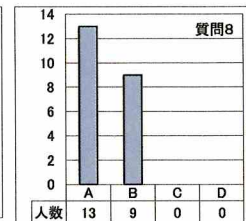
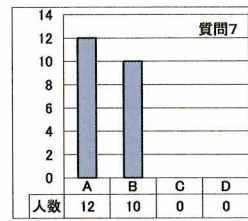
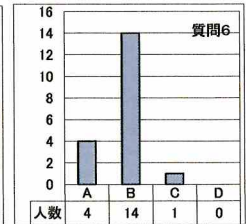
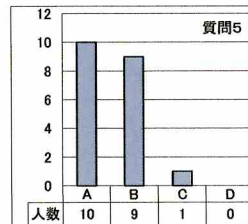
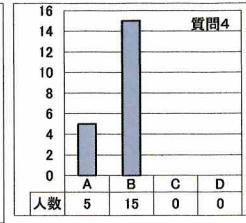
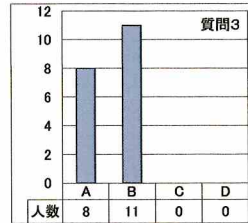
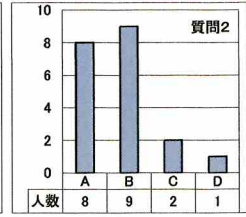
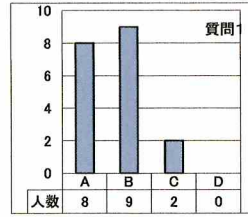
令和4年度 甲府市立北中学校スクールプラン（学校教育目標、学校経営の努力点、指導重点）と評価

学校教育目標		個性豊かな民主的実践人～自らの持ち味発揮し、仲間と助け合える人～			
めざす学校像	★ 楽しい学校	めざす生徒像	★ 自ら学ぶ生徒	めざす教師像	★ 熱意ある教師
	★ 活力ある学校		★ 素直な心を持つ生徒		★ 責任感ある教師
	★ 美しい学校		★ 健康な体をつくる生徒		★ 実践力ある教師
学校経営の努力点	(1) 確かな学力 ①わかる授業、学びたくなる授業づくり ②基礎基本の定着と学習習慣の確立 (2) 豊かな心 ③道徳授業の充実による「思い遣る心」の育成 ④自己有用感の育成と心の居場所づくり ⑤「自主活動」「自主管理」精神の継承 (3) 健やかな体 ⑥健康・安全教育の推進 ⑦進んで運動する態度の育成と体力の向上 (4) 開かれた学校 ⑧小中連携の推進 ⑨保護者・地域との信頼関係の醸成 ⑩地域と連携した教育活動の推進 (5) 特別支援教育の充実 ⑪全校体制による指導支援体制の構築 ⑫家庭・関係機関との連携 ⑬ユニバーサルデザインを取り入れた環境づくり				
	本年度の指導重点	具体的な目標	評価指標(アンケート項目)	アンケート項目(番号)	
確かな学力	① 「甲府スタイル」をモデルとした授業づくり	① ICTの効果的な活用 ② 教科の授業実践(一人一実践)	① ICTを取り入れ、甲府スタイルの授業実践を行っているか。 ② 授業改善につながる評価を行っているか。	生①②③ 保①②	
豊かな心	② 朝の自主活動、振り返り学習の工夫	② 自主学習の充実、学年諸活動の実践	② 教科の振り返り学習や学年の諸活動として朝の自主活動は効果的であったか。	職①②③④	
	③ 「考え、議論する」道徳の授業の推進	③ 道徳の授業実践	③ 「考え、議論する」場の設定をし、授業づくりを行っているか。	職⑥	
健やかな体	⑤ 一人ひとりの持ち味を認め、活かす集団づくり	⑤ 学友会、学年、学級、部活動との連携	⑤ 生徒の個性を理解し、思いやり、支え合う集団づくりに取り組んでいるか。	生⑤⑥⑦⑧ 保⑤⑥⑦ 職⑦⑧	
	④ いじめ・不登校の未然防止・早期対応	④ 情報の共有と課題の把握・生徒理解	④ 生徒理解・支援に努めるとともに、家庭との連携は適切に図られているか。	生④ 保③④ 職⑩	
開かれた学校	⑥ 実践的な防災・防犯訓練の実施	⑥ 防災に関する学習や定期的な避難訓練の実施。	⑥ 避難訓練や防災教育を適切に行い、危機管理や防災意識の向上が図られているか。	生⑨ 保⑨ 職⑪	
	⑦ 「体力づくり」の充実	⑦ 学友会活動との連携 集団づくり	⑦ 体力づくりの伝統と意義について指導し、生徒の積極的な活動を支援しているか。	生⑩ 保⑩ 職⑫	
特別支援教育の充実	⑧ 七校長会による情報交換と小中連携の推進	⑧ 小中合同研究会、「NOスマホDay」の実施	⑧ 小中連携を意図し、効果的な取り組みとなっているか。	職⑭	
	⑨ 学校・学年だより・学校HPによる情報発信	⑨ たよりの発行と地域回覧、HPの工夫	⑨ 学校・学年・学級だより及びホームページを活用した情報発信ができているか。	生⑪ 保⑪⑫ 職⑬	
多忙化改善に向けて	⑩ 地域教材及び地域人材の活用	⑩ 職業講話、福祉講話、安全教室等の実施	⑩ 地域人材を活用し、生徒の興味関心を高める機会を積極的に設定しているか。	職⑨	
	⑪ 全校体制による指導支援体制の構築	⑪ 家庭・関係機関との連携 ⑫ ユニバーサルデザインを取り入れた環境づくり	⑪⑫ 課題を抱える個々の生徒への支援は適切に行われているか。	職⑬	
	⑬ きずなの日の完全実施 ⑭ 部活動基本方針に沿った活動の実施 部活動の完全休養日の設定 ⑮ 会議の効率化				

職員用アンケート集計結果(令和4年度)

- A よくあてはまる B ややあてはまる
C あまりあてはまらない D まったくあてはまらない

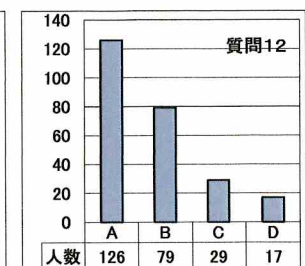
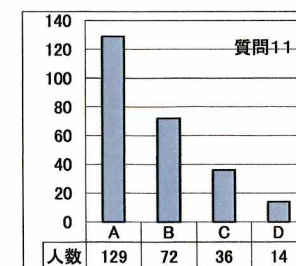
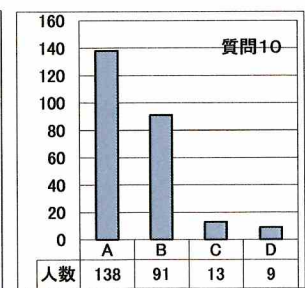
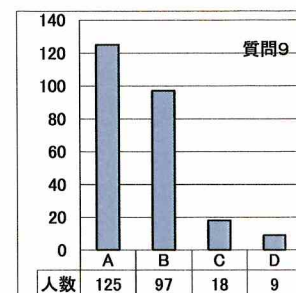
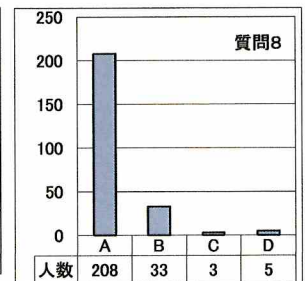
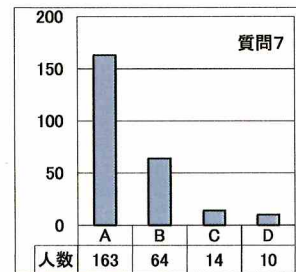
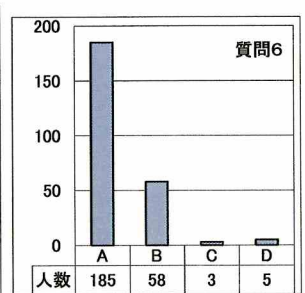
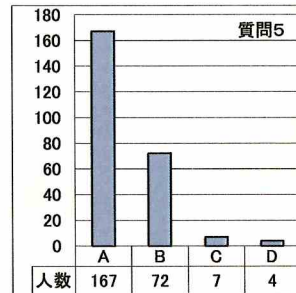
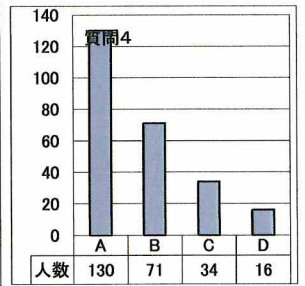
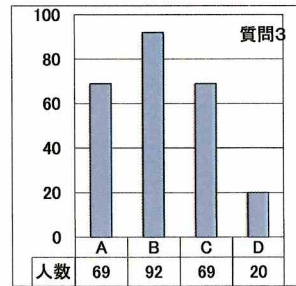
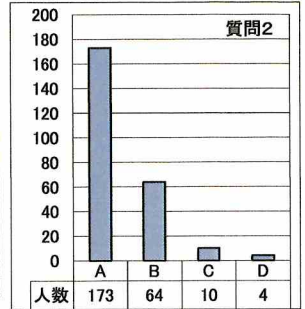
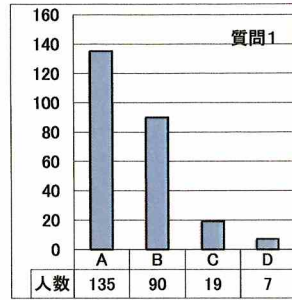
質問	質問内容	A	B	C	D	計
質問1	発問・学習形態・ICTの活用など工夫して授業を行っている。	8	9	2	0	19
		42	47	11	0	100
質問2	教科の研修に努めるとともに、授業と家庭学習が連動するような工夫をしている。	8	9	2	1	20
		40	45	10	5	100
質問3	朝学習や新聞スクラップなど各学年の取り組みの成果は出ている。	8	11	0	0	19
		42	58	0	0	100
質問4	新しい評価内容を理解し、工夫して日々の学習について記録の蓄積に努めている。	5	15	0	0	20
		25	75	0	0	100
質問5	情報収集に努め、定期的な二者懇談の実施や職員間の情報交換を通して、個に応じた適切な支援に努めている。	10	9	1	0	20
		50	45	5	0	100
質問6	学習形態や発問を工夫し、「考え議論する」道徳の授業の実践に努めている。	4	14	1	0	19
		21	74	5	0	100
質問7	生徒の積極的な行事への参加を支援し、生徒理解に努め、信頼関係づくりに取り組んでいる。	12	10	0	0	22
		55	45	0	0	100
質問8	学級活動等、書k津堂の中で、思いやりの心を育て、支え合う集団づくり努めている。	13	9	0	0	22
		59	41	0	0	100
質問9	職業講話や福祉講話等地域(外部)人材を活用し、豊かな心を育てる指導に努めている。	11	5	1	1	18
		61	28	6	6	100
質問10	不登校生徒、その保護者へのアプローチを定期的に行い、家庭と連携しながら、生徒支援に努めている。	11	7	1	0	19
		58	37	5	0	100
質問11	危機管理マニュアルに基づき、防災学習、避難訓練、安全点検など、安全・安心な学校づくりに努め、生徒の防災意識の向上を図っている。	10	10	2	0	22
		45	45	9	0	100
質問12	教育活動全般において感染症対策に努め、生徒への新しい生活様式への意識化を図る指導を行っている。	17	6	0	0	23
		74	26	0	0	100
質問13	学生会活動への支援を行い、体力づくりの指導を適切に行っている。	8	12	0	0	20
		40	60	0	0	100
質問14	七校長会を中心に、効果的に小中学校の連携が図られている。	6	13	2	0	21
		29	62	10	0	100
質問15	学校・学年・学級だより等の便りを定期的に発行し、PTA活動・学校行事など学校の教育活動を知ってもらうための努力をしている。	17	3	1	0	21
		81	14	5	0	100
質問16	全校体制での支援や関係諸機関との連携、ユニバーサルデザインの視点での教室環境づくり等、課題を抱える生徒に対し、適切な支援に努めている。	11	10	2	0	23
		48	43	9	0	100



生徒用アンケート集計結果(令和4年度)

A よくできている(あてはまる) B だいたいできている(あてはまる)
 C あまりできていない(あてはまらない) D できていない(あてはまらない)

質問	年	A	B	C	D	計
質問1 積極的に授業に参加し、課題解決やノートづくりに真剣に取り組んでいますか。	1年	37	32	7	1	77
	2年	42	34	11	1	88
	3年	56	24	1	5	86
	計	135	90	19	7	251
	年	A	B	C	D	計
質問2 クロームブックやICT教材を活用した授業では、その使い方などを理解できていますか。	1年	57	17	2	1	77
	2年	63	19	6	0	88
	3年	53	28	2	3	86
	計	173	64	10	4	251
	年	A	B	C	D	計
質問3 家庭学習に自主的に取り組んでいますか。	1年	28	27	15	6	76
	2年	17	35	29	7	88
	3年	24	30	25	7	86
	計	69	92	69	20	250
	年	A	B	C	D	計
質問4 困ったことがあった時に、親・先生・友達に相談していますか。	1年	42	15	16	4	77
	2年	47	27	8	6	88
	3年	41	29	10	6	86
	計	130	71	34	16	251
	年	A	B	C	D	計
質問5 学級や学年集団の中で、思いやりの心を持って接していますか。	1年	50	21	3	2	76
	2年	58	28	2	0	88
	3年	59	23	2	2	86
	計	167	72	7	4	250
	年	A	B	C	D	計
質問6 清掃や係の仕事など、学級・学年の仕事に責任もって取り組んでいますか。	1年	58	17	0	2	77
	2年	65	21	2	0	88
	3年	62	20	1	3	86
	計	185	58	3	5	251
	年	A	B	C	D	計
質問7 学級・学年・その他の学校の活動の中で、やりがいを感じていますか。	1年	50	19	5	3	77
	2年	54	28	2	4	88
	3年	59	17	7	3	86
	計	163	64	14	10	251
	年	A	B	C	D	計
質問8 学友会の活動(北陽祭などの行事・委員会活動等)に友人と協力し取り組んでいますか。	1年	61	13	0	1	75
	2年	75	11	1	3	90
	3年	72	9	2	1	84
	計	208	33	3	5	249
	年	A	B	C	D	計
質問9 災害等に直面した時、正しく行動できると思いますか。	1年	37	31	6	3	77
	2年	47	35	5	0	87
	3年	41	31	7	6	85
	計	125	97	18	9	249
	年	A	B	C	D	計
質問10 新しい生活様式を意識した生活ができていますか。	1年	47	21	4	5	77
	2年	47	38	3	0	88
	3年	44	32	6	4	86
	計	138	91	13	9	251
	年	A	B	C	D	計
質問11 健康を考えて、体力づくりなど体力の向上に励んでいますか。	1年	45	22	6	4	77
	2年	45	28	10	5	88
	3年	39	22	20	5	86
	計	129	72	36	14	251
	年	A	B	C	D	計
質問12 学校便り、学年・学級便りが発行されています。読んでいますか。	1年	49	20	3	5	77
	2年	39	30	13	6	88
	3年	38	29	13	6	86
	計	126	79	29	17	251
	年	A	B	C	D	計



保護者用アンケート集計結果(令和4年度)

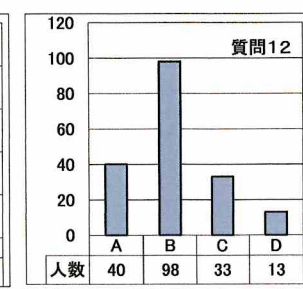
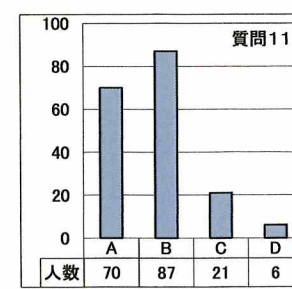
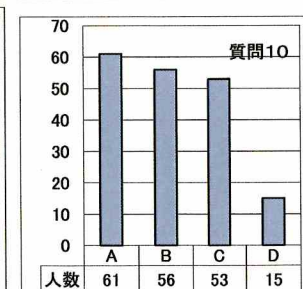
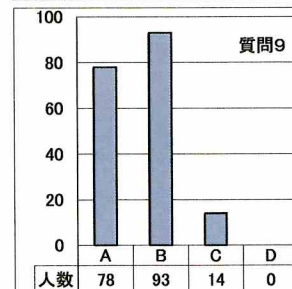
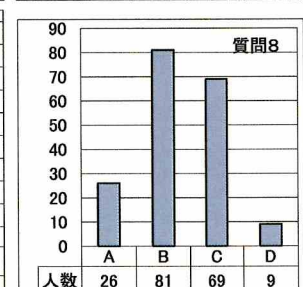
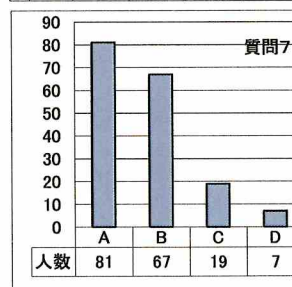
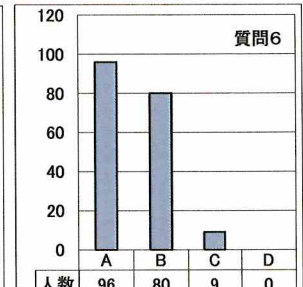
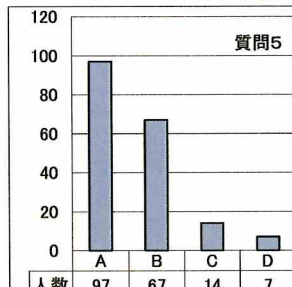
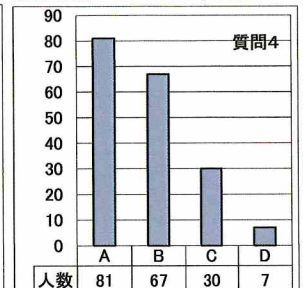
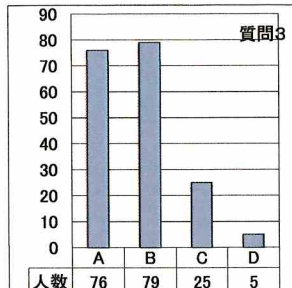
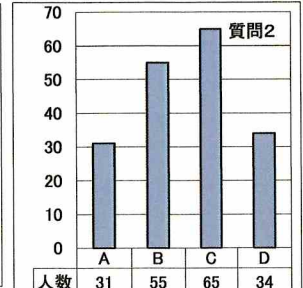
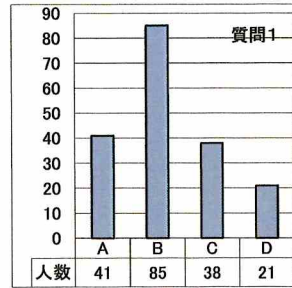
A よくできている(あてはまる)

B だいたいできている(あてはまる)

C あまりできていない(あてはまらない)

D できていない(あてはまらない)

質問	年	A	B	C	D	計
質問1 お子さんは、学校の授業に意欲的に取り組み、授業の内容がわかっていると思いますか。	1年	7	33	11	3	54
	2年	16	33	17	9	75
	3年	18	19	10	9	56
	計	41	85	38	21	185
	年	A	B	C	D	計
質問2 お子さんは、計画的に家庭学習を行っていますか。	1年	9	15	22	8	54
	2年	5	26	31	13	75
	3年	17	14	12	13	56
	計	31	55	65	34	185
	年	A	B	C	D	計
質問3 お子さんは、困ったことがあった時に、親に相談しますか。	1年	23	23	6	2	54
	2年	29	33	12	1	75
	3年	24	23	7	2	56
	計	76	79	25	5	185
	年	A	B	C	D	計
質問4 お子さんは、学校のことや友だちのことなど、家で話しますか。	1年	24	17	11	2	54
	2年	28	31	13	3	75
	3年	29	19	6	2	56
	計	81	67	30	7	185
	年	A	B	C	D	計
質問5 お子さんは、学校の中で居場所があり、楽しく学校生活を送っていると思いますか。	1年	28	24	1	1	54
	2年	36	30	6	3	75
	3年	33	13	7	3	56
	計	97	67	14	7	185
	年	A	B	C	D	計
質問6 お子さんは、友だちをはじめまわりの人に思いやりを持って接していると思いますか。	1年	28	23	3	0	54
	2年	34	36	5	0	75
	3年	34	21	1	0	56
	計	96	80	9	0	185
	年	A	B	C	D	計
質問7 お子さんは、学友会の活動(北陽祭などの行事・委員会活動等)に積極的に参加していると思いますか。	1年	27	21	5	1	54
	2年	25	25	10	4	64
	3年	29	21	4	2	56
	計	81	67	19	7	174
	年	A	B	C	D	計
質問8 お子さんは、自然災害等、防災に関することを家庭内で確認していることがありますか。	1年	9	22	22	1	54
	2年	11	30	29	5	75
	3年	6	29	18	3	56
	計	26	81	69	9	185
	年	A	B	C	D	計
質問9 お子さんは、感染症対策について、意識し生活していると思いますか。	1年	24	25	5	0	54
	2年	27	40	8	0	75
	3年	27	28	1	0	56
	計	78	93	14	0	185
	年	A	B	C	D	計
質問10 お子さんは、進んで運動するなど、体力づくりに努めていますか。	1年	23	15	13	3	54
	2年	26	24	21	4	75
	3年	12	17	19	8	56
	計	61	56	53	15	185
	年	A	B	C	D	計
質問11 学校・学年・学級だより・ホームページを通して、学校の様子がわかりますか。	1年	28	21	2	2	53
	2年	21	40	12	2	75
	3年	21	26	7	2	56
	計	70	87	21	6	184
	年	A	B	C	D	計
質問12 PTA活動・学校行事への参加や参観をしたいと思いますか。	1年	12	30	10	2	54
	2年	10	41	17	6	74
	3年	18	27	6	5	56
	計	40	98	33	13	184
	年	A	B	C	D	計



肯定的な意見の割合

職員

No.	質問項目	R3	R4
1	発問・学習形態・ICTの活用など工夫して授業を行っている。	96	89
2	教科の研修に努めるとともに、授業と家庭学習が連動するような工夫をしている。	87	85
3	朝学習や新聞スクラップなど各学年の取り組みの成果は出ている。	92	100
4	新しい評価内容を理解し、工夫して日々の学習について記録の蓄積に努めている。	95	100
5	情報収集に努め、定期的な二者懇談の実施や職員間の情報交換を通して、個に応じた適切な支援に努めている。	95	95
6	学習形態や発問を工夫し、「考え議論する」道徳の授業の実践に努めている。	100	95
7	生徒の積極的な行事への参加を支援し、生徒理解に努め、信頼関係づくりに取り組んでいる。	96	100
8	学級活動等、諸活動の中で、思いやりの心を育て、支え合う集団づくりに努めている。	96	100
9	職業講話や福祉講話等、地域（外部）人材を活用し、豊かな心を育てる指導に努めている。	91	88
10	不登校生徒、その保護者へのアプローチを定期的に行い、家庭と連携しながら、生徒支援に努めている。	96	95
11	危機管理マニュアルに基づき、防災学習、避難訓練、安全点検など、安全・安心な学校づくりに努め、生徒の防災意識の向上を図る指導を行っている。	91	91
12	教育活動全般において感染症対策に努め、生徒への新しい生活様式への意識化を図る指導を行っている。	96	100
13	学友会活動への支援を行い、体力づくりの指導を適切に行っている。	96	100
14	七校長会を中心に、効果的に小中学校の連携が図られている。	92	90
15	学校・学年・学級だよりなどのたよりを定期的に発行し、PTA活動・学校行事など、学校の教育活動を知ってもらうための努力をしている。	96	95
16	全校体制での支援や関係機関との連携、ユニバーサルデザインの視点での教室環境づくり等、課題を抱える生徒に対し、適切な支援に努めている。		91

生徒

No.	質問項目	R3			R4		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年
1	積極的に授業に参加し、課題解決やノートづくりに真剣に取り組んでいますか。	1年	90	92	1年	90	90
		2年	92		2年	86	
		3年	92		3年	93	
2	クロームブックやICT教材を活用した授業では、その使い方などを理解できていますか。	1年	99	99	1年	96	94
		2年	99		2年	93	
		3年	99		3年	94	
3	家庭学習に自主的に取り組んでいますか。	1年	78	75	1年	72	64
		2年	65		2年	59	
		3年	82		3年	63	
4	困ったことがあった時に、親・先生・友だちに相談していますか。	1年	88	87	1年	74	80
		2年	84		2年	84	
		3年	88		3年	81	
5	学級や学年集団の中で、思いやりの心を持って接していますか。	1年	96	97	1年	93	96
		2年	97		2年	98	
		3年	97		3年	95	
6	清掃や係の仕事など、学級・学年の仕事に責任持って取り組んでいますか。	1年	100	98	1年	97	97
		2年	97		2年	98	
		3年	96		3年	95	
7	学級・学年・その他の学校の活動の中で、やりがいを感じていますか。	1年	95	95	1年	90	90
		2年	95		2年	93	
		3年	96		3年	88	
8	学友会の活動（北陽祭などの行事・委員会活動等）に友達と協力し取り組んでいますか。	1年	98	98	1年	96	97
		2年	99		2年	97	
		3年	99		3年	96	
9	災害等に直面したとき、正しく行動できると思いますか。	1年	93	92	1年	88	89
		2年	92		2年	94	
		3年	90		3年	85	
10	新しい生活様式を意識した生活ができていますか。	1年	96	96	1年	88	91
		2年	96		2年	97	
		3年	96		3年	88	
11	健康を考えて、体力づくりなど体力の向上に励んでいますか。	1年	86	82	1年	87	80
		2年	82		2年	83	
		3年	76		3年	71	
12	学校便り、学年・学級便りが発行されています。読んでいますか。	1年	89	87	1年	90	82
		2年	78		2年	78	
		3年	92		3年	78	

保護者

No.	質問項目	R3			R4		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年
1	お子さんは、学校の授業に意欲的に取り組み、授業の内容が分かっていると思いますか。	1年	66	72	1年	74	68
		2年	79		2年	65	
		3年	74		3年	66	
2	お子さんは、計画的に家庭学習を行っていますか。	1年	44	56	1年	44	46
		2年	61		2年	41	
		3年	68		3年	55	
3	お子さんは、困ったことがあった時に、親に相談しますか。	1年	90	87	1年	85	84
		2年	85		2年	83	
		3年	84		3年	84	
4	お子さんは、学校のことや友だちのことなど家で話をしますか。	1年	88	83	1年	76	80
		2年	84		2年	79	
		3年	76		3年	86	
5	お子さんは、学校の中で居場所があり、楽しく学校生活を送っていると思いますか。	1年	88	89	1年	96	89
		2年	91		2年	88	
		3年	88		3年	82	
6	お子さんは、友だちをはじめ、まわりの人に思いやりの心を持って接していると思いますか。	1年	96	95	1年	94	95
		2年	96		2年	93	
		3年	95		3年	98	
7	お子さんは、学友会の活動（北陽祭などの行事・委員会活動等）に積極的に参加していると思いますか。	1年	90	87	1年	89	85
		2年	89		2年	78	
		3年	80		3年	89	
8	お子さんと自然災害等、防災に関することを家庭内で確認していることがありますか。。	1年	64	65	1年	57	58
		2年	69		2年	55	
		3年	63		3年	63	
9	お子さんは、感染症対策について、意識して生活していると思いますか。	1年	96	96	1年	91	92
		2年	96		2年	89	
		3年	96		3年	98	
10	お子さんは、進んで運動をするなど、体力づくりに努めていますか。	1年	72	63	1年	70	63
		2年	67		2年	67	
		3年	47		3年	52	
11	学校・学年・学級だより・ホームページを通して、学校の様子がわかりますか。	1年	88	90	1年	92	85
		2年	90		2年	81	
		3年	92		3年	84	
12	PTA活動・学校行事への参加や参観をしたいと思いますか。	1年	76	78	1年	78	75
		2年	86		2年	69	
		3年	76		3年	80	

令和4年度 学校評価（自己評価）に係る成果と課題・改善方策

1 学校経営の努力点

- (1) 確かな学力
- (2) 豊かな心
- (3) 健やかな体
- (4) 開かれた学校

2 成果と課題・改善策について

- (1) 確かな学力 <生徒①②③ 保護者①② 職員①②③④⑤>

①「甲府スタイル」をモデルとした授業づくり（ICTの効果的な活用・授業実践）

今年度もICTの活用が校内研究のテーマにもなっており、全ての教科でICTを授業で積極的に使った。その効果もあり、ほとんどの生徒が積極的に授業に参加したと答えている。また、授業の内容について、68%の保護者がわかっている、だいたいわかっていると肯定的な回答をしている。クロムブックを使うことで、生徒は授業にとっても集中して取り組んでいる様子が見えてくる。クロムブックの利点をいかして反復学習など、学習内容の定着を心がける授業を展開していきたい。クロムブックの使い方については、生徒の約5%がまだ少し不安を感じている。昨年度までに比べ、数値が減り、使用に関しては、慣れてきているといえる。今後も授業の時間だけでなく、自主活動の時間や授業以外の時間を使って使い方についても指導していきたい。また、授業の中では、目的に応じたICTの活用ができるように心がけていきたい。

②自主活動の充実・振り返り学習

今年度も昨年度に続き、授業が家庭学習につながるように、課題や宿題を出すよう各教科で工夫をした。生徒の約64%が自主学習を行っている、または時々行っていると答えている。一方で、36%があまり行っていない、または行っていないと答えている。保護者に関しては、46%がよく行っている、54%があまり行っていないと答えている。昨年度までに比べ、数値は低下していることが見て取れる。宿題や指示があったことは行うが、自分から取り組むことについては、まだ課題が残る。生徒に家庭学習の必要性を伝えるとともに、学校で学習したことが定着するような取り組みの工夫を今後も継続していきたい。

- (2) 心の教育

① 道徳 <職員⑥>

アンケートより、「考え議論する道徳」の実践については95%の職員がABと肯定的な意見であった。「思い遣る心」の育成を図るための授業実践に努めていることが分かる。今年度も、一昨年度より継続して、授業で学んだことや感想を記入するOPPシートの活用をはかった。これにより、生徒自身が自己の心の変容を見取することはもちろんのこと、教師も生徒の記述から自己の授業実践を振り返り、毎時間のねらいに迫れるような授業改

善に努めてきた。また、ChromeBook の活用により、意見交換や意見共有が学級全体で行うことが容易になった。ほかにも資料を提示をすることで、生徒の教材理解につながり、考える時間が増えるようになった。今年度は ICT を効果的に利用する方法が見えてきた。ICT を使うことで「考え、議論する」道徳の授業実践をさらに推進していきたい。そして、生徒間の意見交換などをより活発にして、多角的な視点に立ち「思い遣る心」の育成につなげていきたい。

② 一人一人の持ち味を認め、活かす集団づくり

＜生徒⑤⑥⑦⑧ 保護者⑤⑥⑦ 職員⑦⑧＞

生徒、保護者、教員の思いやりに関する質問については、AB の肯定的な回答が 90 % 以上となっている。学級活動、学友会活動の中で、思いやりの心を育て、支えあう集団作りに努めている結果が出ている成果だと感じた。生徒・保護者についても高い数値を示しているため、来年度も引き続き、思いやりの心の育成に取り組んでいきたい。

また、学友会活動に関する項目では、(学友会活動に積極的に参加しているか。)では、97%の生徒が AB の肯定的な回答をしている。例年と同じように達成感や充実感を得ることができたと感じていることが分かる。しかし若干ではあるが保護者評価が低い点では、生徒の活動の様子が保護者に伝わるような工夫をしていく必要がある。

自己有用感の育成や心の居場所づくりに関する項目では、(学校の活動の中でやりがいを感じているか。)では、AB と肯定的な回答がほとんどであった。保護者についても高い数値であったので、今後も保護者に学校生活の様子を発信していく必要がある。来年度も引き続き、自己有用感の育成や心の居場所づくりがうまくできるような環境を整えていく必要がある。

③ いじめ・不登校の未然防止・早期対応 ＜生徒④ 保護者③④ 職員⑩＞

自己有用感の育成と心の居場所づくりについて保護者は、自分の子どもが学校の中で居場所があり、楽しく学校生活を送っているかという質問に対して、88.6%が A・B に回答している。90.4%の生徒が、学級・学年・その他の学校の活動の中でやりがいを感じているが、その数値は昨年と比べて5ポイントの減少となっている。コロナ禍の影響も考えられるが、授業や部活動、学校行事を通して、自己有用感を高めていく必要がある。

いじめ・不登校の未然防止・早期対応の項目では、生徒、保護者、職員のアンケート結果から生徒は、困ったことがあった時に親・先生・友だちに相談しているかという質問に対して、80%が A・B に回答しており、多くの生徒が困りごとを解決する手だてを持っていることが分かる。自分の子どもが困った時に、親に相談しますかという質問に対して、保護者の83.8%が A・B に回答しており、家庭での良好な親子関係が、いじめの早期発見に役立っていることがうかがえる。

行事への参加、生徒理解、信頼関係づくりに取り組んでいるかという質問に対しては、ほぼ全ての職員が A・B に回答している。一人ひとりのよさを認め、より良い生徒集団づくりに取り組んでいる。

二者懇談の実施や情報交換、家庭との連絡を通して、個に応じた適切な支援に努めているという質問に対し、ほぼ全職員が A・B と回答しており、生徒理解に努めている。90%前後の生徒や保護者は、学校での人間関係や居場所について満足している。しかしながら、不登校生徒も増加の傾向にあり、人間関係等で悩んだり、困ったりしている生徒も少なくない。今後もいじめ・不登校の未然防止及び迅速かつ適切に対応するために、職員間の情報交換や家庭との連絡を密にとっていきたい。

(3) 健やかな体

① 実践的な防災・防犯訓練の実施 <生徒⑨ 保護者⑧ 職員⑪>

職員や生徒の安全や防災に関わる意識は高く90%前後である。生徒アンケートで、「災害等に直面したとき、正しく行動できると思いますか」という問いには89%の生徒がAまたはBのできるという回答であった。ただ、保護者アンケートで「自然災害等、防災に関することを家庭内で確認している」家庭は58%であった。災害はいつでも起こりうる可能性があるという認識を持つ必要がある。防災に関わる授業だけでなく、日頃から安全や防災に関わる話をするこゝで意識を高めていきたい。また、今年度は、火災や地震、洪水についての避難訓練を工夫しながら行ってきた。予告なしの避難訓練や図上訓練、動画の視聴など効果的に実施することができた。防災・防犯訓練など命を守る教育について今後も継続して取り組み、自らの命を守る行動ができる生徒の育成に努めていきたい

② 新しい生活様式を踏まえた取り組みの推進 <生徒⑩ 保護者⑨ 職員⑫>

アンケート結果よりA・Bと回答した生徒は91.2%で、多くの生徒が新しい生活様式を意識した生活ができている。また、保護者の92.4%がA・Bと回答しており、生徒が感染症対策を意識して生活していると感じている保護者が多い。また、教員の100%が、感染症対策に努め、生徒への新しい生活様式への意識化を図る指導をしていると回答している。学校全体で感染症対策に取り組み、新しい生活様式を踏まえて学習活動や学友会活動、部活動など様々な工夫をしながら行うことができた。また今後、コロナ政策の変更に伴う、生活様式や学校の感染症対策に変更があった場合は、生徒の精神面への影響を考慮しながら、対応した取り組みを行っていききたい。

③ 「体力づくり」の充実 <生徒⑪ 保護者⑩ 職員⑬>

職員、生徒アンケートは、高い値である。保護者アンケートでは63%で昨年度と変わらない数値であった。ただ、昨年度から比べると生徒のポイントが少し減っている。グラウンドの改修工事で体力づくりを行っていないので、その影響もあるのかと考えられる。本校の体力づくりは、学友会本部役員を中心に主体的、意欲的に取り組んでいる。今年度は、9月中旬からグラウンドの改修工事が行われ、体育や部活動などが制限されてしまった。体力づくりも中断しているので、体力向上の意識が低下してしまっているのかもしれない。2月でグラウンド改修工事が終わるので、部活動や全校での体力づくりなど学友会の活動として生徒が主体的に活動する機会を増やしていきたい。

(4) 開かれた学校

① 七校長会による情報交換と小中連携の推進 <職員⑭>

今年度は、小中連携として、学区内小学校に中学校教員が出向いての出前授業を実施することができた。6年生は、中学校への期待の中にも不安を持っている児童も多くいるので、中一ギャップの解消のため、入学前に中学校の授業に触れることは大切なことである。また、例年通りに定期的に地域の小中学校の校長による情報交換や小中の連携のあり方について広く意見交換を行っている。感染症予防・学校行事のあり方・各行事の学校の対応など、多くの情報を提供していただいた。また、「NO スマホ Day」は各家庭の協力をいただき、定期テストの前に年2回実施しているが、ネット社会、ゲーム依存など社会現象化している課題に向き合うよい機会となっている。以前行っていた学区内小中合同研究会

は今年度実施できなかった。感染症の様子を鑑みながら実施については今後検討をしていく。

② 学校・学年だより・学校 HP による情報発信 <生徒⑫ 保護者⑪⑫ 職員⑮>

アンケートより肯定的な意見の割合は保護者、生徒は80%前後、職員は90%以上の高い割合であった。月末に定期的に発行している学校便り・学年通信、各担任により発行される学級通信、学校の様子を伝える学校ホームページに取り組んでいる。更に工夫をしながら、ご家庭に学校の様子が伝えられるようにしていきたい。今年度も感染症対策のため、授業参観は制限をしておいた実施となった。夏休みのPTA奉仕作業などのPTA活動の中止もあった。今後も保護者が学校の様子を知ることができる通信や学校ホームページなどの情報発信に努めていきたい。

③ 地域教材及び地域人材の活用 <職員⑨>

地域と連携した教育活動の推進についての教員アンケートの結果は、A・Bの肯定的な意見の割合が89%となった。コロナ禍ではあるが、福祉講話や人権教室、よのなか科など地域や外部の人材を招き学びを深めることができたためと考える。しかし、職場体験学習は実施できず、地域と連携した教育活動の推進には工夫が必要な状況にある。福祉講話や人権教室では、その立場の方にしか伝えられない思いや視点などに触れ、学びを深めることができた。子どもたちが自分たちと関わる地域社会に対して関心を持ち、地域の方や外部の方と触れ合ったことで、社会貢献の大切さに気付く機会ともなった。「地域に開かれた学校」という点からも、引き続き地域人材・教材を活用した取り組みを行い、積極的に地域とかわかっていくことが大切である。今後は、職場体験学習の実施状況に応じて、職業講話など違う形で地域人材の活用と働くことへの学びを深められる機会を設けていきたい。また、地域学習を教育課程に取り入れることで、少しでも地域へ貢献できる方法を模索していきたい。

③特別支援教育に関する研修と共通理解の推進 <職員⑯>

特別な支援を必要とする生徒について全職員の共通理解を図るため、学期ごとの校内委員会と毎月の職員会議において当該生徒に対する特性の理解と適切な支援について情報提供を行い、校内支援体制づくりに努めた。必要に応じ、外部機関と学校、保護者との連携を図るためケース会議を行い、本人や保護者に具体的な支援方法を示し、不安を和らげることができた。また、今年度から始まった南西中サポートルームによる「通級による指導」では、学級担任と通級指導担当者との連携により、通級生徒の学習上又は生活上の困難の改善に取り組むことができた。また、通級指導を受けている生徒が来年度も指導の継続を希望していることから、その効果が現れていると考えられる。来年度も学期ごとの校内委員会と特別支援教育に関する校内研修会を実施し、特別支援教育の推進と共通理解に努めていきたい。

3 自由記述より

■学校行事について

コロナ禍において、クラスで一つのものを作り上げる機会は、激減した。その中でも合唱祭は、生徒の心に残る行事であり、クラスの仲間と心を一にできたという意見が多く

あった。ケサラを昔のように肩を組んで歌って欲しいなどの要望や文化ホールの舞台に立つ貴重な経験ができたという意見があった。また、文化ホールでの実施については、送迎や観覧のことを考えて体育館での実施に移行できないかなどの意見もあった。来年度は施設予約の関係で文化ホールでの実施であるが、教育的効果も考慮しながら実施場所や実施方法については検討をしていく。

進路説明会を早い時期に実施して欲しいなどの意見もあった。高校入試のシステムを理解していない親もいるので、進路通信などにより進路情報を積極的にお知らせしていく必要があると考えている。

■生徒指導について

中学入学に不安を持っていたが、きめ細やかな対応や子供達の思いが反映され、笑顔が増えたなどの意見があった。また、校則は生徒を縛るだけの無意味なものが無く、学習や部活などにも意欲的に取り組み、伸び伸びと学校生活を送っている。ただ、先生と生徒との距離感を感じている保護者もいるようである。今後も子どもたちが毎日楽しく目的を持って学校生活が送れるように私たち教師が支援を続けていきたい。校則については、来年度中に見直しを図って行く予定である。

■学習について

授業の進むスピードについて行けず、授業内容がわからない生徒への支援をとの意見があった。担当教員がわかる授業のための実践研究を行うことや ICT 機器の活用、e ライブラリーを使っての支援などをおこなうことが必要だと考えている。また、定期試験の実施曜日についての意見もいただいた。試験日程については部活動や諸行事とのバランスを考慮し、適切な日程を検討していきたい。

■部活動について

本校は部活動数が多く、1つの部活動に対する指導者の数が少ないのが現状である。1つの部活動に2人以上の複数顧問を当てるのが理想であるが、なかなか難しい現状である。来年度から3年間かけて部活動の地域移行を目指している。保護者にも協力してもらい地域での指導者の確保など、多くの問題を解決して、一步一步進んでいかなければならない。本校の子どもたちは部活動に生き活きと取り組み、学校生活を楽しく過ごしている生徒が多くいる。また、保護者の意見の中で急な予定の変更や欠席の連絡方法などを考えていく必要がある。

■その他

本校では毎朝、生徒が提出した健康チェックカードを学年職員が、対面で確認している。保護者からマスクの着用についての意見もいただいた。今後、新型コロナウイルスが感染症として5類になっていくことも考え、保護者の理解を得ながら実施方法については検討をしていきたい。また、登下校時に、スクールゾーンへ、車両の侵入を心配するなど意見もいただいた。今後も学校の北と南の十字路での交通指導を継続していき、生徒の安全の確保に努めていきたい。

4 令和4年度学校関係者評価について

次のような形で学校関係者評価を実施した。

- 1 日時 令和5年2月17日（金）16：30～
- 2 場所 甲府市立北中学校会議室
- 3 出席者 前学校評議委員と学校運営協議会設置推進委員
《前学校評議員》山田貴久子様 猪股秀男様 古屋知子様
《学校運営協議会設置推進委員》青柳達也様 服田尚隆様 味藤哲雄様
山本勅夫様 加賀美準一 PTA 会長様 岸本直也 PTA 副会長様 佐野愛 PTA
副会長様
《北中学校》保坂伸校長 高岡健教頭
- 4 内容 令和4年度学校評価について
前学校評議員や学校運営協議会設置推進委員の方々からご意見を伺ったり
情報交換を行った。
※学校長から令和4年度学校運営についての説明と教頭よりアンケートにつ
いての説明後に意見交換を行った。
- 5 意見と方向性
 - アンケートの回答については、無記名で実施したのか。
 - ・無記名実施であり、個人が特定できるものではない。来年度も無記名アンケートを実施していきたい。
 - ICT（情報通信技術）活用に取り組んでいるが、なぜABの割合が99%から94%に下がったのか。
 - ・昨年6月から生徒はコンピュータ端末の持ち帰りをおこなっている。今までは、ワープロやプレゼンテーション、インターネット検索などができれば良かったのだが、最近はジャムボードなど多くの新しいソフトを使いこなさなくてはならない。学習課題をクラウド上で提出するなど、新しいことに対応するため、より多くの知識や技能が必要となってきた。来年度も引き続き、これからの時代に必要なICT活用能力の育成に取り組んでいきたい。
 - 地域行事へ中学生の参加を促したい。
 - ・コロナ禍もあり、地域の人と接する機会が減ってきている。小学生は保護者と一緒に行事に参加する機会があるが、中学生になるとほとんど参加をしないのが現状である。地域との関わりを模索し工夫をしていきたい。子どもクラブの指導者も少なくなってきた現状もある。また、千代田地区は子どもの数自体が少なくなってしまう。来年度は、学校運営協議会を通じて学校と地域との連携を図っていきたい。

- 防災学習や避難訓練など生徒が自らの命を守る教育を大切にしたい。また、地域の防災訓練に中学生が参加できるといい。
 - ・学校では、SOS の出し方の教育など全学級で実施し、命の大切さを考える学習を大切にしている。また、防災訓練は工夫をしながら定期的の実施し、生徒が自らの命を守ることができる能力の育成に取り組んでいる。また、中学生が地域の防災訓練に参加できる仕組みを考えていきたい。

- 朝日地区では小学生や駿台中学校の生徒と一緒にマツバボタンやビオラを植えている。北中とも交流する機会ができるといい。
 - ・来年度は、今年2月に美化委員会で種をまき栽培しているマリーゴールドを学校運営協議会の協力のもと地域への配付や花壇への移植を計画したい。

- PTA 活動を大切にしていきたい。
 - ・PTA 活動の意義や必要性について再認識し、子どもたちのために保護者が関われる PTA 活動にしていきたい。

6 その他

2月24日(金)16:00からの第5回 PTA 学校委員会でも資料を配付し、PTA 役員への説明をおこなった。